



スマートハウスの実現に向け、ガス給湯器や燃料電池を始め様々な家電機器との通信を可能にするエコネットライト規格について、機器相互の接続性を確認するための認証及び試験を4月1日から開始します。

一般財団法人日本ガス機器検査協会(理事長:鈴木 善統、所在地:東京都港区赤坂1-4-10)は、一般社団法人エコネットコンソーシアムからエコネットライト規格に基づくA I F仕様適合性に関わる認証機関/試験機関としての認定を取得しました。4月1日よりエコネットライト規格に基づく認証、並びにガス給湯器と燃料電池に係る試験を開始いたします。

スマートハウスでは、例えば、創エネ機器(太陽光発電や燃料電池)、蓄エネ機器(蓄電池)、スマートメーターやガスメーター、電気自動車、ガス給湯器、そしてスマート家電(テレビ、冷蔵庫や洗濯機など)が、通信規格であるエコネットライト規格によって協調制御され、省エネやCO₂排出量削減に寄与します。

当協会では、製造事業者が開発したエコネット規格対応製品について、製造事業者からの申請を受け試験を行い、A I F仕様適合性に関わる認証登録証の発行をいたします。

■ A I F仕様

A I F仕様とは、機器別のアプリケーション通信インターフェース仕様のことであり、各社の製品の相互接続性を向上するために、この仕様に基づき開発された製品を当協会をはじめとした第三者機関が認証及び試験を実施します。

■ 対象となる機器

A I F仕様に基づく製品の認証は、2016年4月の開始時点でスマートメーター、太陽光発電、蓄電池、燃料電池、エアコン、照明機器、給湯器、電気自動車用充放電器の8機器及びこれらのコントローラーが対象です。

当協会では、これらの認証とともに、試験については、ガス給湯器及び燃料電池を対象に実施いたします。

<お問い合わせ>

一般財団法人 日本ガス機器検査協会 認証技術部 担当:鍋嶋、藤原
<http://www.jia-page.or.jp/> 電話03-5570-5990

以上